

第2580地区

東京セントラルパークロータリークラブ

The Rotary Club of Tokyo Central Park

Weekly Report

2018-2019年度 スローガン

「広げよう奉仕の輪、親睦・友情の輪」

第12回（通算1685回）2018年10月23日



本日の例会



- | | |
|----------------------|----------------|
| 〈1〉 開会点鐘・会長挨拶 | 〈7〉 メークアップ報告 |
| 〈2〉 ロータリーソング「四つのテスト」 | 〈8〉 委員会報告 |
| 〈3〉 ビジター紹介 | 〈9〉 ニコニコBOX 報告 |
| 〈4〉 幹事報告 | 〈10〉 閉会点鐘 |
| 〈5〉 出席状況報告 | |
| 〈6〉 9月のニコニコ大賞 渡辺会員 | |



本日の卓話



本日の卓話 「日本での生活で感じたこと」
2018 学年ロータリー米山記念奨学生 張 軼威(ジャン イーウェー)さん
(中国・東京大学情報理工大学院・世話クラブ 東京後楽 RC)

〈10/30〉 例会休会日

〈11/6〉 「ロータリー財団月間に因んで」
地区ロータリー財団・地区補助金委員会委員長 松林 茂会員

◆◆◆ 先週の例会記録 ◆◆◆

2018年10月16日 第11回(通算1684回)
 開会点鐘 松林会長 B1「白鳳の間」
 ＊ゲスト紹介 1名 大塚花子さん(ピアノ奏者)
 出席 22名 欠席 12名 (免除者 1名)
 出席率 66.66% 補正出席率(9/25) 75.75%

◆◆◆ 松林会長より ◆◆◆



元会員でパスト会長であられた大井建男様が今月7日お亡くなりになりました。ご冥福をお祈りし、皆さんで黙祷したいと思います。黙祷

- ① 「ロータリーの友」10月号に国際大会の開催地のドイツ・ハンブルグの紹介記事が掲載されています。ご一読頂き、多くの皆様の国際大会へのご参加をお願い致します。
- ② 「ガバナー月信」10月号は米山月間に因み地区委員会活動報告が掲載されています。また、米山梅吉記念館 50周年記念事業への寄付も数名の方から寄せられています。ご協力いただける方は宜しくお願い致します。
- ③ 当クラブが協賛しております「世界少年野球大会」の会長 王貞治氏より感謝状が届いております。
- ④ 8月にブラジルからお母様とお二人、ビジターでお越しになられたマルシ・ドウカト様からRID4730・Curitiba ロータリークラブのバナーが届きましたので、ご紹介いたします。

◆◆◆ 幹事報告 ◆◆◆

- ① ガバナー事務所より青少年交換学生の受入れ書が届きました。返信期限は11月30日までです。又、地区青少年奉仕委員会のご案内が橋本地区青少年奉仕委員に来ております。日程は、11月8日です。
- ② 地区社会奉仕委員長より中央分区社会奉仕委員長会議の開催のご案内が佐野社会奉仕委員長に来ております。日時は 2018

年11月9日(金)15時40分登録 会場はヒルトン東京3階です。

- ③ (在京)地区拡大増強セミナーのご案内が来ています。各クラブからは、対象者の中から2名以上のご参加をお願い申し上げます。日程は12月3日です。

◆◆◆ 先週の例会より ◆◆◆



「阿佐谷ジャズストリート」への協賛金が
 実行委員長の渡辺会員へ

◆◆◆ ニコニコBOX 報告 ◆◆◆

- 小林会員:大井建男さんのご冥福をお祈りして!!
 榛村会員:誕生日のお花を有難うございました。
 杉本会員①妻の誕生日の花、有難うございました。②中嶋会員、イニシエーション・スピーチ頑張って下さい。③今月1日に前社会奉仕委員長の時に公約した、募金自販機をローカル板橋に設置しました。
 川松会員:お誕生日のお花、ありがとうございました。
 齋藤会員:妻の誕生日のお花、ありがとうございました。大変喜んでおりました。

今週の合計 5件 25,000円
 累計 1,417,179円

11月の卓話スケジュール	
6日	「ロータリー財団月間に因んで」 地区ロータリー財団・地区補助金 委員長 松林 茂会員
9日 (金)	中央分区(5クラブ)IM ホストクラブ:城北RC 於:ヒルトン東京
13日	IM 例会振り替え休会日
20日	「未定」 花形会員紹介者
27日	例会休会日

◆◆◆ 先週の卓話 ◆◆◆



「イニシエーション・スピーチ」中嶋冬彦会員 〈プロフィール〉

- 2006年3月 早稲田大学商学部卒業
- 同年4月 松下電工株式会社(現パナソニック株式会社)入社
- 2009年3月 同社退社
- 同年3月 ヤマト電機株式会社入社
- 2010年6月 同社代表取締役就任

〈趣味〉 ● 海外旅行

学生時代はアルバイトでお金を貯めて、世界一周の一人旅で放浪

イースター島、エジプト、アメリカ、オーストラリア、UAE、マレーシア、タイ、カンボジア、トルコ、オランダ、カナダなど

〈会社紹介〉 ● ヤマト電機株式会社

創業:1972年

事業内容:電設資材卸

従業員数:335名

国内事業所:32拠点 海外現地法人:2拠点(インドネシア・ベトナム)

売上高:146億円で引き継ぎ現在213億円

〈ヤマト電機の社会貢献活動〉

● お金のかからない活動

エコキャップ推進運動、ベルマーク・書き損じはがき・使用済切手の収集

● お金のかかる活動

東北支援:浦霞の酒蔵から年間700本以上の購入

若者の夢の支援:フットサルチーム(フォーガドール墨田)のスポンサー

熊本地震:震災の翌々日に物資を届け、東海大学から感謝状授与

〈ロータリークラブで学びたいこと〉 ● 人徳

牧野会員のいるお酒の場で記憶を飛ばして失態を犯す、同会員からロータリークラブを紹介されて入会。クラブ会員皆様はいずれも人徳に富ん

だ方々ばかりだと存じますので、色々な考え方を吸収して、人として成長していきたいと考えていますので、今後とも宜しくお願い致します。



「イニシエーション・スピーチ」宮坂唯之会員

平成30年8月7日 松林会長の紹介で、当クラブに入会。会社は麴町で、主に会計・経理・財務・総務・人事等の仕事(社会人になってから約25年間事務一筋)。住まいは千葉県我孫子市で約22年前に結婚したと同時に住む(理由:妻が一人娘の為、妻の実家と同じ市内を住まいに選んだ)。子どもは大学2年生の息子と高校1年生の娘の二人

息子・・・小さい頃から、水泳・ラグビー・サッカーを習い始め最終的にはサッカー一筋。小学・中学(地元のクラブチームで9年間プレー)高校(千葉県の強豪2校と言われる高校で3年間プレー)その後大学に進学しサッカー部に入部。大学ではサッカー部に入ったものの、1年間でサッカー部を辞め、サッカー留学をしたいという希望で現在休学中、今月からオーストラリアのチームに加入し語学学校に通いながらサッカーを続ける。

娘・・・小さい頃から水泳を習い始め、小学生になると同時にアーティスティックスイミングを習い始める(今年の4月よりシンクロナイズドスイミングから名称変更)。チーム数も少ない為、練習できる場所が限られる。最初は習志野シンクロクラブ→小学6年生から現在は茨城県のシンクロクラブ。目標は国体に出場すること。

本人・・・栃木県那須塩原市出身(旧、西那須野町)兄弟は4人 末っ子として生まれ、なんと生まれた時の体重が4800g!一番上の六つ離れた姉が3600g 二番目の四つ離れた兄が3800g 三番目の二つ離れた姉が4000g 4人全員安産、実家事業は専業農家。

主に米・もち米・麦・大豆・ネギ・椎茸を栽培。

最近、農業を行う家が少なくなっており、ま

た高齢化という事で特に兼業農家の方は農業機械の維持が大変な理由から、使用しない田んぼの米作りを依頼されることが多い。

農家の大変さは幼いころから十分に分かっているので、GWの田植えは毎年必ず帰って、朝から晩まで手伝いを行う。作った作物の主な出荷先は農協、それ以外に、地元の方々と共同で設立した直売所(よく道の駅などにあるようなもの)にも出荷。

他に集荷する物としてキュウリの漬物(三五八漬け)・・・塩・米麴・米を3:5:8の割合で混ぜ合わせたものに差し水をして熟成させたものに、キュウリを一晩漬けたもの。餅・・・杵でついた白い餅や豆餅(ピーナッツと青のりと塩で混ぜ合わせてついたもの)正月近くになると、餅の依頼が殺到し、クリスマスが過ぎたあたりから忙しくなり、1日で40回以上も餅つきを行う日もある(一回の餅米の量が約3.5升、結構な重労働)。

椎茸栽培(栽培開始から35年以上)。

原木は福島県から仕入れたクヌギ・ナラの木を使用(椎茸栽培には最も適してる木)。春の暖かくなる前の時期に原木にドリルで穴をあけその穴に菌種を詰め込む。昔は「駒菌」を使用した栽培(コルクみたいに固まった菌を穴に差し込み木のトンカチで打ち込む方法)。今は「オガ菌」を使用した栽培(おがくずの様な菌種を機械を使って穴に押し流し、その上から、ローを塗り付ける方法・・・ローは菌種の乾燥を防ぐと共に、雨水や害菌の侵入を守るのが目的)。昔は、オガ菌は植菌能率の点で劣ると言われ続けてきましたが、高能率の植菌器具の開発で駒菌よりも速く植菌できるようになった。通常は、植菌してから椎茸が発生するまで1年半はかかると言われていたが、このオガ菌のおかげで、植菌してから半年で椎茸が育ち、出荷が可能となった。植菌した原木は寒くなり始める11月位から本格的に栽培が開始され、春に植菌した原木からは小さい芽が生えだし、その原木を水槽で水に十分浸し(約48時間)、その後、温水暖房等を使用して温度調整されている。

ビニールハウスへ運んで並べあとは椎茸が育つのを待ち収穫へと入る。なぜ、このような水に浸す作業を行うのかというと、椎茸を採取したい日に一斉に収穫することが出来るメリットがある。浸水作業は水分の補給と同時に急激な吸水、

低温に逢わせるなどの刺激を加えることによってキノコの発生を促す目的で行う。

寒くなると水槽の水も低くなるため、その刺激がキノコを発生させるのに良いと言われており、ビニールハウスの温度が25度を超える環境では5日程で収穫できる。植菌した原木は、約3年間使用でき、1年で2回程同じ工程を繰り返し採取。3回以上行っても採取は出来るが、回数が少ないほど菌糸の力を温存でき、来年のシーズンも沢山の椎茸が採取できる。



2018-19年度 中央分区(5クラブ) インターシティ・ミーティング開催のご案内

テーマ:「わがクラブの奉仕活動」

日時:2018年11月9日(金)
受付開始 11:00
講演 12:00~12:45
～ 昼食 ～
IM会議 13:40~
閉会 15:20

場所:ヒルトン東京 3階「桂春日」
新宿区西新宿6-6-2
TEL 03-3344-5111

登録料:8,000円
(昼食代を含みます。)
ホストクラブ:東京城北ロータリークラブ

—事務局からのお知らせとお願い—

* 例会欠席の場合は、前日までに事務局にご連絡下さい。

例会日 毎週火曜日 12:30~13:30

例会場 ハイアットリージェンシー東京

会長 松林 茂 副会長 萱森 由美

幹事 榛村 浩一 会報委員 塚本 将之

事務局 〒166-0004

東京都杉並区阿佐ヶ谷南1-34-6 新東京会館

TEL(03)3312-4959 FAX(03)3312-4958

E-mail: info@tokyocentralpark-rc.com

<http://www.tokyocentralpark-rc.com/>